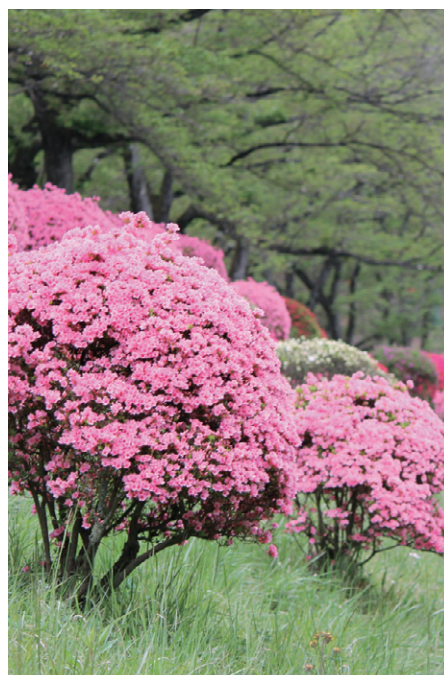


広報さくら

◆◆第96号◆◆

平成25年7月17日

発行:日本大学明誠高等学校後援会



主な内容

- ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・ 会 長・・・2
- ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・ 学校長・・・3
- 教職員紹介・・・・・・・・・・・・・・ 4～9
- 球技大会・・・・・・・・・・・・・・ 10～11
- 謝恩会を振り返って・・・・・・・・・・・・ 12～13
- お知らせ・あともがき・・・・・・・・・・・・ 14



後列左から 西間庭 準 顧問 西村 博和 三学年担当副会長
前列左から 佐藤 智 一学年担当副会長 高尾 博美 会長
中村 春彦 二学年担当副会長

皆様はじめまして。

この度、平成25年度後援会会長としてご指名を頂きました、高尾博美と申します。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

後援会発足以来、初の女性会長とのことで、身の引き締まる思いと同時にプレッシャーも感じている今日この頃です。先輩方が築き上げた伝統ある後援会を新役員一同で、より一層盛り上げて行こうと思いますので、皆様どうぞご協力頂きます様お願い申し上げます。

また、校長先生をはじめ、先生方には日頃より大変お世話になっております。

私達後援会も、チーム明誠の一員として、微力ながら、支援活動をしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

後援会行事のご紹介

誠祭(文化祭)にてバザーの開催

毎年誠祭において、バザーを行っています。これは、日頃からお世話になっている上野原市の皆様を始め、生徒たちを見守ってくださっている多くの皆様への感謝を込めて、開催しているものです。多くの皆様が毎年楽しみに、朝早くから来てくださり、バザーを通した語らいが誠祭に彩りを添えてくれます。

強歩大会豚汁作り

今年も寒い季節に開催される強歩大会のコースの安全管理や生徒への声援、暖かい豚汁作りを行います。学校の周りの景色を楽しみながらも、一生懸命走り、歩き、ゴールした生徒たちへ豚汁を振舞うことで、生徒と保護者の交流が生まれ、身もココロも温まり疲れを癒してくれる、そんな時

間を作りたいと思います。

卒業謝恩会の開催

卒業式のあとに、三年間お世話になった教職員の皆様への感謝を込めて、謝恩会を開催します。三年間で大きくたくましくなった子供たちを支えてくださったエピソードに、こみ上げるものがあります。

その他、研修会の企画や、後援会支援行事の様子を伝える広報誌の発行を行います。

後援会は多くの行事を支援しながら、子供たちの学校生活の充実を願い、教職員の皆様と共により良い学校作りを目指していきたいと思っています。ご協力よろしくお願いいたします。



平成25年度日本大学明誠高等学校後援会委員総会 (6月1日)



後援会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育推進に際しまして、ご理解とご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

先日、後援会広報部の方から原稿を依頼されました。以前に「座右の銘」と題して執筆しましたが、今回はその続きを書きます。

その時の書き出しは、「ある雑誌の記事に、新入社員の採用面接において、面接官が『あなたの座右の銘は何ですか。』と質問をしたところ、即座に答えられる人は少なかったということが書いてありました。若い人にとって、座右の銘を聞かれて即座に答えられるということは、日頃からそれを意識しているのだと思います。この言葉を国語辞典で引くと、[いつも自分の座る場所のそばに書き記しておいて戒めとする文句]とありました。」であります。

さて、今回は、全校集会で生徒に話したことを書きます。生徒には、自分の将来に向かって、勉強や進路選択あるいは部活動などで、目標を持つことの大切さを話してきました。誰でもそうですが、目標達成のために行動をしていくと必ず壁に当たります。例外はありません。失敗が続いたり、邪魔が入ったり、とんでもないトラブルがあったりします。偉業を達成した人は、そこであきらめなかった、だから目標が達成できたわけだと話しました。生徒には目標を達成するために、決してあきらめないための励ましの言葉として紹介しました。

それは、私の尊敬する先生が事あるたびに言っていた言葉で「念ずれば花ひらく」です。ある月刊誌を読んでいたところ、その言葉が詩集の中にあることがわかり、早速にその詩集を買って求めました。作者は、坂村真民という方です。この方は、愛媛県で高等学校の国語の先生をされていました。国語の教科書にもこの先生の詩が採用されているということで、皆様の中には、ご存知である方もいると思います。本を紹介します

と、詩集の題名も「念ずれば花ひらく」です。作者曰く、「念ずれば、の念は、今という字に心という字から出来ている。つまり、自分の目標についていつもそう思い、日々努力しなさいということである」と言っています。そこで、この詩を生徒に読んで聞かせました。

念ずれば花ひらく

苦しいとき
母がいつも口にしていた
このことばを
わたしもいつのころからか
となえるようになった
そうしてそのたび
わたしの花がふしぎと
ひとつひとつ
ひらいていった

また作者は、「念ずるということは、前向きに生きようとするのであって、希望なのである。決してあきらめることなく前進しなさい。」とも言っています。将来を担う生徒達に、少しでも参考になればと紹介をした次第です。この「念ずれば花ひらく」を、座右の銘にされている方もいると聞いております。

以前にも書きましたが本校の生徒は全校集会のとき、無駄話をしないで静かに先生方の話を聞いています。この話をしたときも良く聞いてくれました。これからのこのような集会が続いてほしいものです。人の話を聞くことは、授業を聞く上でも最も大切なことです。このことは、後援会の皆様方の日頃のご家庭における教育と先生方の普段の指導の賜物と感謝しております。「チーム日大明誠」の名の下に、後援会の皆様と教職員が思いを一つにして本校が益々発展することを願うといたします。

(参考資料 詩集「念ずれば、花ひらく」 サンマーク出版)





ちよこっとクイズ

第1問

この先生は誰でしょう？



高校時代

ヒント

3年生の先生です。

第2問

この先生は誰でしょう？



高校時代

ヒント

よく目を見て下さい。



大学時代

第3問

この先生は誰でしょう？



小学校時代



高校時代

ヒント

ヒント、いませんよね。

答えは最後のページです。

球 技 大 会

4月20日



3年女子 バスケットボール



3年男子 サッカー

球技大会

4月20日



2年女子 キックベース



2年男子 バレーボール



1年男女 ドッチボール

春の暖かさが感じられる平成25年3月2日、平成24年度日本大学明誠高等学校卒業証書授与式が挙行されました。卒業証書授与式終了後、恒例の後援会主催卒業謝恩会に臨むため、教職員、保護者はバスに分乗して会場となる京王プラザホテル八王子へ移動しました。

総勢169名の出席者が待ち構える中、3学年主任の中川先生、各クラス担任が入場して卒業謝恩会がスタートしました。保護者はそれぞれの思いを抱いて先生方へ感謝の気持ちを伝えるべく、歓談いたしました。

しばらくして、会のメインイベントである3学年担当の先生方への記念品の贈呈が行われました。壇上ではお礼の言葉を添えて、先生方に記念品と花束をお渡ししました。先生方からは、

思いもよらぬエピソードを交えたご挨拶をいただいて、会は最高潮に盛り上がりました。卒業生保護者の感謝の気持ちを十分伝えることができた会ではなかったかと思います。

最後になりますが、会を運営するために協力して下さった後援会役員、委員、全ての会員の皆様に紙面をおかりしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



日大明誠からバスで会場へ



平成24年度卒業謝恩会 3月2日

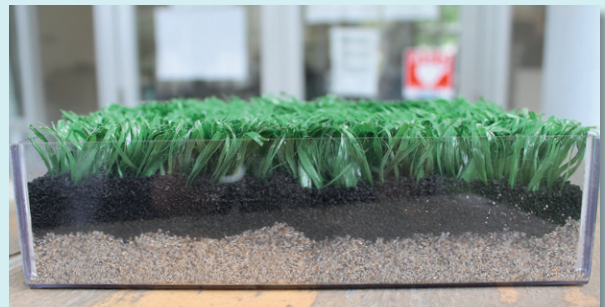


第1運動場(グラウンド)が生まれかわります！

現在、第1運動場(グラウンド)は、人工芝への張替え工事の真っ最中です。今はまだ、基礎整備の段階のようです。今後人工芝の緑に覆われるとどんな景色になるのでしょうか。完成が楽しみです。



工事が進んでいるグラウンドの様子



人工芝サンプル写真

新しいグラウンドでの誠祭・体育祭をお楽しみに！！

後援会からのお知らせ

バザー協力のお願い

毎年バザー用品のご協力をお願いしております。

本年は9月14・15日の秋の開催となりました。ご家庭の未使用品等のご提供のご協力をお願い致します。

謝恩会のお知らせ

毎年恒例となっております卒業式終了後の後援会主催の謝恩会を本年度も開催致します。

お世話になった教職員の方に感謝の気持ちを伝えませんか。3学年の保護者の皆様方のご参加をお待ちしております。

～あとかき～

今年度もにぎやかなメンバーでスタートいたしました。昨年度は誌名も「広報さくら」と変更し、より一層パワーアップしております。行事予定の移動で内容は少々変わりますが、読みやすく楽しい誌面作りに部員一同努力してまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

(広報部員一同)



ちょこっとクイズの正解

第1問：坂本 博 先生 第2問：前嶋 俊夫 先生 第3問：金箱 信 先生